

マイクロフォン

「新青年」一九二六年三月

国枝史郎

青空文庫

△小酒井不木氏の作では新青年の「恋愛曲線」大衆文芸の「人工心臓」を挙げる。いずれも凄愴酷烈である。そうして社会性を持っている。△江戸川乱歩氏の作では苦楽の「闇に蠢く」^{うごめ}を挙げる。例に由つて^よ瑰麗の文章である。そうして次号を待たせるだけの強い魅力を持っている。△平林初之輔氏の評論には僕はいつも感心し、そうして敬意を払っている。新青年の「予審調書」も、処女作などとは思われない程、調つた見事の作である。△横溝正史氏の「広告人形」甲賀三郎氏の「ニッケルの文鎮」本田緒生氏の「街角の文字」（いずれも新青年所載）等は、^{くろうと}玄人の手に成つた尋常の作。

青空文庫情報

底本：「国枝史郎探偵小説全集 全一卷」作品社

2005（平成17）年9月15日第1刷発行

底本の親本：「新青年」

1926（大正15）年3月

初出：「新青年」

1926（大正15）年3月

入力：門田裕志

校正：Julki

2014年4月10日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

マイクロフォン

「新青年」一九二六年三月

2020年 7月18日 初版

奥付

発行 青空文庫

著者 国枝史郎

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>